

# 浄泉寺通信

第15号  
 年4回発行  
 浄土真宗本願寺派  
 吉見布教所浄泉寺  
 埼玉県比企郡吉見町  
 長谷1678-6  
 発行責任者 福井学誠

新しい一年が始まりました。本年もよろしくお願いいたします。

さて、「お墓が遠方にあるとお参りになかなか行けず、お墓の将来が不安」というお悩みをお持ちの方は多いでしょう。大家族が核家族へと変わり、若い人は地方を離れて都会へ移り、少子高齢化が進んでいることもあって、すでに地方のお墓を継承した人やこれから継承しなければならぬ人にとって、ご先祖さまのお墓を今後どう考えていくか、頭の痛い問題です。墓地の永代使用権は子々孫々まで継承されますので、お墓の永代使用権を持つ代表者の方が亡くなれば、それを継承する人は契約を結び直さなければなりません。その手続きを怠ったり新たな継承者がいない場合、いても名乗り出ず連絡もつかない場合は、永代使用権が無効となり墓地が更地に戻されるという最悪のケースも起こり得ます。また女性の継承者のなかには、自身のご実家のお墓とご主人のご実家のお墓の両方を見てい

るといふ方も少なくありません。ご夫婦で計7か所もお墓に毎年

朝な夕なに拜むもので、生活の身近にあります。また故人の墓前にお参りしたいという人を、お墓で案内することは難しくても、お仏壇にお線香をあげていただくことは容易です。そして何と言いましても、お仏壇は仏教を信仰するという一家のシンボル、そしてご先祖さまに手を合わせ頭をたれる心を親から子へ、子から孫へ伝える大切な場です。総合的に見て、お仏壇は一家の中心になれますが、お墓は一家の中心になれないとわたしは思います。ご実家のお仏壇

「待ちに待った子宝に恵まれた」「息子や娘家族が家を新築した」など様々です。自分の念願がかなって生かされているのも、ご先祖さまのおかげという感謝の気持ちは何より大切です。もちろん葬儀や法事といった必要に迫られて購入なさっても良いですが、そういつきほど物入りが重なって資金に苦しく、慌ただしく不安な気持ちでゆっくりお仏壇を選べない状況が考えられます。経済と時間に余裕のある時、またお元気な時にご用意いただくと、心にゆとりも生まれます。そのことで安心して手を合わせる満足感と安心感を生み、ご先祖さまに見守られて家族が静かに暮らせていると実感できる、お仏壇本来の役目が果たせます。買い替えて不要になったお仏壇は、菩提寺を通じて他人に寄贈することもできます。つまり、経済的な理由からお仏壇を買えないご家庭との橋渡しを、菩提寺にお願いするというもので、新しいご家庭に使っていただければお仏壇もご先祖さまもさぞ喜ばれることでしょう。

## お仏壇とお墓の性格の違い

お参りしているというお話も聞いたことがあります。しかしお墓をお移ししたり永代供養墓への改葬には、お墓の規模にもよりますが墓石の撤去、移転先の墓地の使用料、墓地の工事などを含め百万〜三百万円程度の経費が必要で、経済的な理由から遠方のお墓をそのままにしておられる方、新たなお墓をなかなか買いたくありません。

ば、新たにお求めください。大きさはこだわらなくて大丈夫です。そしてお仏壇はいつ、どんな動機で買ったか思い出してください。ご実家のお仏壇

「待ちに待った子宝に恵まれた」「息子や娘家族が家を新築した」など様々です。自分の念願がかなって生かされているのも、ご先祖さまのおかげという感謝の気持ちは何より大切です。もちろん葬儀や法事といった必要に迫られて購入なさっても良いですが、そういつきほど物入りが重なって資金に苦しく、慌ただしく不安な気持ちでゆっくりお仏壇を選べない状況が考えられます。経済と時間に余裕のある時、またお元気な時にご用意いただくと、心にゆとりも生まれます。そのことで安心して手を合わせる満足感と安心感を生み、ご先祖さまに見守られて家族が静かに暮らせていると実感できる、お仏壇本来の役目が果たせます。買い替えて不要になったお仏壇は、菩提寺を通じて他人に寄贈することもできます。つまり、経済的な理由からお仏壇を買えないご家庭との橋渡しを、菩提寺にお願いするというもので、新しいご家庭に使っていただければお仏壇もご先祖さまもさぞ喜ばれることでしょう。

もし、お墓をお移しするか、お仏壇をお移しするか、どちらを先にすべきか迷われたら、お仏壇を優先してください。理由はお墓とお仏壇、それぞれの性格の違いにあります。まずはお墓との距離、お仏壇との距離の違いです。お墓に出かけるのはご両親のご命日、春秋のお彼岸、そしてお盆ぐらいですが、お仏壇は家の中にあつて

死者が出なければ買ってはならない」「お仏壇を買って新仏が出る」という俗信を耳にしますが、これは葬儀後に仏壇を買うケースが多いところから生まれた迷信で、まったく根拠はありません。購入の動機は「永年の念願がかなった」「自分や家族が大病にかかったが、苦勞の甲斐あって全快した」「低

「南無阿弥陀仏」と書いた掛軸を家庭に掛けていたのが、お仏壇の起源と言われます。つまり、浄土真宗が最初なのです。(住職)



築地本願寺の本堂前にて記念撮影

昨年7月、恒例の手品蘭盆会(お盆の法要)を築地本願寺(東京・中央区)を会場に勤め、百四名の方々と共に、故人を偲ぶ静かな時間を持ちました。「遠方のお墓にお参りできず、こうして供養いただくとお助かります」という声を、今回いただきました。誠にありがたいことです。本年は7月12日に予定しており、5月頃に往復乗書で出入をお尋ねする予定です。

築地本願寺の月刊誌に  
掲載されました

築地本願寺(東京・中央区)が毎月発行している冊子に、浄泉寺の情報が掲載されました(写真下)。浄土真宗本願寺派のお寺が少ない首都圏に、お寺を増やそうと進められてきた「都市開教」。築地本願寺では「都市開教専従員」を任命し、布教所運営から寺院の開設までを支援しています。浄泉寺はその制度で開設された数あるお寺のひとつに過ぎませんが、そのなかでも古民家を本堂に改修するという手法が極めて珍しく、今回初めて取材を受けました。



当寺の采歴と今後の目標も掲載され、嬉しい限りです。浄泉寺通信今号に同封してお届けいたしましたのは、当該掲載誌です。残さ若干ございませう。ご希望の方はお電話ください。電話0493-54-8803(浄泉寺)

【浄泉寺の今後の活動】

- 1月1日(土)8時  
元旦会(元旦の法要)  
(浄泉寺仮本堂・埼玉県吉見町)
- ★お寺参りが難しくても、一年のはじめに、おせちを食べるより先に、ご夫婦ご家族でお仏壇の前で手を合わせましょう。
- 1月16日(金)19時(毎月開催)  
親鸞聖人御消息講座(第14回)  
(フレサよしみ・埼玉県吉見町)
- 1月18日(日)10時  
新年のつどい&コーラス練習  
(浄泉寺仮本堂)
- 2月20日(金)19時  
親鸞聖人御消息講座(第15回)
- 2月21日(土)14時  
写経会(浄泉寺仮本堂)
- 3月20日(金)19時  
親鸞聖人御消息講座(第16回)  
(フレサよしみ)
- 3月21日(土)14時  
彼岸会(浄泉寺仮本堂)



■ 1月18日(日)10時から「新年のつどい&コーラス練習」を開催します。築100年の古民家を改修した本堂(写真上は工事前)は、順調に工事が進み、今春竣工の予定です。仏教讃歌の練習初めのこの日、仏教讃歌にご縁のなかった方にこそ工事中の本堂の内部をご覧いただこうと、「新年のつどい」としてお餅つきをします。杵と臼は古民家で使われていたものです。ご葬儀やご法事でお寄せいただいた皆様のお布施が、積みり積もって今回の改修につながっています。お一人でも多くのご参加をお待ちしています。ご参加いただける方は、ご連絡ください。電話0493-54-8803(浄泉寺)